

かかやけ あさひ

校長室だより 11月 2号

あなたがそこにいるだけで
その場の空気が明るくなる。
あなたがそこにたどり
たけでみんなの心がや
すらぐ。そんなあなたに
私もなりたい

時々紹介させていた
だいています私の好きな相田みつをさんの詩
です。いろんな詩がありますが、特に考えさせられる詩です。

人から好かれ、自然とその人の周りに人がよってくる人ってどんな人でしょうか。その人がいるから場が明る

くなる、楽しくなる、みんなが自然と笑顔になり、ほっこりできる。そんな素晴らしい人は必ず身の回りに何人かいらっしゃいますね。まさに癒しの人だと思います。温かいエネルギーを感じます。そんな人に少しでもなれたらいいですね。

岸和田支援学校と4年生の交流 大成功



11月14日に恒例の4年生と地元にある岸和田支援学校との交流をしてきました。まずは支援学校の先生から施設を見学させてもらったり、学校内の様子の説明を聞かせていました。

だきました。それから、A～Fチームに分かれ、各グループ内での簡単な自己紹介をした後、「岸和田コレクション」というゲームをしました。曲が流れている間、ペットボトルを回していく、曲が止まつた時に持っていた人がアウトになるというゲームです。一人ひとり思い思いに時間を考えながら回していました。にぎやかな歓声が体育館中に響き渡りました。そして、最後に運動会で披露した[ケヤキの神]を一生懸命踊りましたよ。支援学校の友達もそのリズムに乗り、一緒に身体を動かしていました。もう一度曲がかかると自然に身体を動かし、4年生と一緒に踊りました。笑顔にあふれていて、本当に良い交流の時間になりました。

帰ってきてから、4年生に感想を聞くと、「楽しいゲームが一緒にできてよかったです。」「ケヤキの神を喜んでくれてよかったです。」「覚えてくれて驚いた。」「なかよくなれてよい交流でよかったです。また会いたいね」等々と。

6年生の平和学習 『ピースネット』



DVD「ヒロシマ・母たちの祈り」を観た後、テレビ会議のシステムで、長崎におられる原子爆弾を体験された方からの話を聞きました。原爆が何故落とされたのか等、

原子爆弾の概要を担当者から説明を受

けた後、被爆体験者の丸田様から当時の生々しい体験を聞かせていただきました。当時中学一年生だった丸田様は、自宅で被爆され、背中に何十か所もやけどの傷をおわれ、今なおその当時の傷が残っているそうです。児童の質問に丁寧に答えていただき、そのお話の中で大きな学びがありました。



「自由に自分の考えが言える今の時代の良さ」「身近な平和を考えてほしい。家族、学校、仲間、岸和田市と」「自分の命を大切にするとともに人の命も大切にしていく気持ちを」「この平和な世界がいつまでも続くよう願っている」等の思いを最後に語られました。この平和を守っていくのは私たち一人ひとりですから。有意義な平和学習になりました。